

作成年月日	令和 3 年 3 月 8 日
作成部局	産業労働部新産業課

ひょうご神戸スタートアップファンドの創設

兵庫県は、平成8年度から震災復興対策として、全国の先陣を切り投資事業を開始し、直近では平成23年度に創設した「ひょうご新産業創造ファンド」により、高い成長可能性を秘めたベンチャー企業等を支援してきました。

このたび、さらなる地域経済の活性化と県内産業の競争力の向上を図るため、神戸市や民間企業等と連携し、飛躍的な成長が見込まれるスタートアップへの投資を行う「ひょうご神戸スタートアップファンド」を新たに創設しました。

1 目的

令和2年7月に、大阪、京都とともに、国が推進するスタートアップ・エコシステム拠点都市構想において、世界と肩を並べる「グローバル拠点都市」に選定され、企業、大学・研究機関、支援機関等と協力し、「ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」による取組を開始しています。

一方で、現在はスタートアップの成長に欠かすことのできない投資資金が首都圏に集中しており、地方でそのパイプを太くすることが課題となっています。

このため、新たなファンドを創設し、これまで兵庫県・神戸市において実施してきたスタートアップ支援施策と連携しながら、ひょうご神戸から世界に羽ばたくスタートアップを資金面で支援していきます。

2 名称

ひょうご神戸スタートアップ投資事業有限責任組合

3 設立年月日

令和3年3月1日（月）

4 ファンド規模及び出資内訳

2段階で出資募集(第1段階:3月1日、第2段階:令和3年末まで)

(1) 出資額

第1段階は6.6億円規模。第2段階において合計10億円超の規模をめざす。

○無限責任組合員(General Partner:ファンド運営者)

・ Bonds Investment Group(株)

○有限責任組合員(Limited Partner:出資者)

・ (公財) ひょうご産業活性化センター(兵庫県分2億円、神戸市分1億円)

・ (株)神戸新聞社

・ シスメックス(株)

・ (株)但馬銀行

・ (株)パソナグループ

・ 兵庫県信用保証協会

・ (株)みなと銀行

(2) 出資予定企業

(株)三井住友銀行(確定) ほか複数の県内外企業等と調整中

5 投資対象企業

県内に本社または拠点を有する企業、または、今後拠点を設ける予定のシード期・アーリー期(※)を中心としたスタートアップ

〔重点投資分野〕

- ・AI・IoT・ロボット、健康・医療、環境・エネルギー、航空・宇宙等の成長分野
- ・SDGs やポストコロナ社会への対応など、社会的課題や地域課題の解決に資する事業

(※)シード期：事業立ち上げ期、アーリー期：事業が軌道に乗るまでの期間

6 運用期間

10年(最大3年間の延長あり)

7 投資方法

株式・転換社債等の取得

8 投資規模

1社あたりファンド総額の20%以内(その範囲内で再投資可)

9 施策等との連携

- ・UNOPS・GIC Japan(Kobe)、500 KOBE ACCELERATOR、Urban Innovation JAPAN、神戸大学グローバル・アントレプレナー育成プログラムなど、兵庫県・神戸市が実施するスタートアップ関連施策と連携し、投資先の発掘や投資前後のハンズオン支援を実施
- ・県内大学等の大学発ベンチャー、医療産業都市で活動する医療・バイオ企業など次代の成長産業も幅広く発掘

【参考】無限責任組合員(ファンド運営者)の概要

- ボンズ インベストメント
- ・名称：Bonds Investment Group(株)
 - ・本社：東京都渋谷区
 - ・設立：平成27年2月
 - ・資本金：7,500万円
 - ・従業員数：8人
 - ・特徴：ファンドマネージャーとなる細野尚孝氏は日本のベンチャー投資家ランキング2021(経済誌・Forbes JAPAN)で5位にランクイン(2020年のキャピタルゲイン38.4億円(編集部推計))
 - ・ファンド運用実績：現在2本のファンド(41.5億円、74億円)を運用中(投資件数:40件、IPO:4件)
 - ・運営方針：県内に新たに拠点を設け、キャピタリストを配置

〈問い合わせ先〉

兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課 新産業創造班

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL：(078)362-4157(直通) FAX：(078)362-4273

Eメール：shinsangyo@pref.hyogo.lg.jp